

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社 平牧工房	記入日	2009/10/27
登録消費材名	登録全消費材		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

1. 平田牧場自主管理システム

2009年9月にISO22000：2005（登録番号JQA - FS0050）の認証を取得いたしました。

2. 施設改修・作業環境の整備

1) 落髪混入対策として、作業中の声掛け運動による従業員意識の向上をはかると共に、エアシャワー内に落髪をキャッチする粘着シートを取り付け、現在モニタリング中です。

2) 皮なしウインナーのピーリングマシンの入れ替えを行ない、ケーシング残存に関する対策を講じました。

3) ハムラインの包装機入れ替えによって、日付印字の欠落対策、コーナーカットによるピンホール対策など、改善につながっています。

4) クリーンルームのフィルター交換、製造課の床補修、地上高を確保するためのハウス台車の改造等を行ない衛生管理の向上を図りました。

3. 安全・健康・環境

1) POEP（第一種化学物質）を含む洗剤は排除しましたが、手洗いや洗濯、一部の機材を除き工場内では合成界面活性剤を使用しています。工場機械器具の石鹸洗浄は開発課で実験的に取り組んでいます。脂肪分の多い機械器具については課題が残ります。

2) 2009年4月、ポークウインナー200gの包材を無添加追求フィルムに変更いたしました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

1. 消費材の利用価値の追求

1) こめ育ち豚の原料肉を使用。

2) 加工肉学習会・交流会への積極的な参加受入。2008年度は64回参加実施。

3) 動画媒体（DVD）を活用し加工肉の製造工程や一般製品との違いなど、生産実態をわかり易く伝えるよう努めてきました。

2. 安全・健康・環境

1) 健康への不安をもたらす「化学合成食品添加物」を使用せず、健康を増進する安全でおいしい「無添加製品」を多くの組合員に利用して頂く事で添加物の削減を図る事ができました。2008年度に供給した消費材の合計は約908トンになり、このことは約20.5トンの「化学合成食品添加物」を排除した事になります。

2) 発生した汚水の堆肥化、スモークチップの燃えカスの再利用などを行った事で、循環型社会、産業廃棄物の削減に貢献する事ができました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

1. 消費材の利用価値の追求

1) 国産全脂粉乳の入手が困難となったことに対して、2009年4月より新生酪農の牛乳に変更しました。

2) 学習会交流会は連合会で日程調整をしてもらったが、参加人数の集約及び更なる日程調整が今後の課題です。

2. 安全・健康・環境

ポークウインナー100gの包材についても、2010年度中に無添加追求フィルムに切り替えを予定しています。

3. 平田牧場自主管理システム

従業員1人1人へのISOシステムの定着化を目指します。

4. 施設改修・作業環境の整備

1) 製品の目視検品強化として、検品ラインの照度アップをはかり、包装後の受け取り口にターンテーブルを設置する等、より検品しやすい環境を整えます。

2) 包装課についても床補修を実施し、より一層の衛生環境を整えます。